アビリンピックとは

大会の名称

大会の正式な名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみヤすいものとするため、愛称として「アビリソピック」を使っています。

「アビリンピック」（Ａ８ＩＬＹＭＰＩＣＳ）は、「アビリティ」（ＡＢＩＬＩＴＹ・能力）と「オリンピック」（ＯＬＹＭＰ１ＣＳ）を合わせたものです。

目的

マビリンピックは、障害のある方々が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るととモに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることも目的として開催しています。

大会の沿革

第１回大会は、昭和４７年１１月に、「全国障害者技能競技大会」め名称で、当時の雇用促進事業団中央技能開発センター（現在の当機構ポリチクセンター千葉）において開催しました。

その後、昭和５１年の身体障害者雇用促進法（昭和６２年の法改正にまり「障害者の雇用の促進等に関する法律」と名称を改ぬました。以下「法」といります。）の改正に伴い、第６回大会より名称ガ「全国身体障害者技能競技大会」と変更されました。

さらに、平成ｑ年の法改正により知的障害者が雇用義務化されたことに伴い、大会においても知的障害者が参加できることとＬ、名称を「全国障害者技能競技大会」と改めました。

そして、平成１８年の法改正により精神障害者が雇用率の算定対象になったことに伴い、ワビリンピックにおりても精神障害者が参加出来ることとなりました。

開催地については、昭和４７年の第Ｉ回大会から平成１ヨ年の第２５回大会までは千葉県で開催してきましたが、第２６回大会以降は原則とＪて技能五輪全国大会と同時期に開催し、全国の事業主ヤ市民一般の方々に、障害者の職業能力についての理解と関心を深めていただくために、各地方都市で開催するよラになりました。

また、第１回大会から第６回大会までは毎年度開催されてきましたが、昭和５６年度に日本（東京）で第１回国際アビリンピックが開催されて以降は、原則として国際アビいンピックが開催されろ年度を除き、開催することとなっています。